

# 播人

東京湾の穏やかな海を眼下に、垂直にそびえ立つ鋸山の絶景が空の高さを強調する。山と海のパノラマが広がる富津市金谷。農業と漁業、観光のまちに新たな魅力が一つ加わった▼かつて「房州石」の産地として栄えたことから、「石と芸術のまち」をテーマに数年前から続くまちおこし。その拠点施設として「金谷美術館」が開館した。石蔵を別館とし、隣接する住家や井戸も国の登録有形文化財で、「石のまち」の風情をたたえる▼小さな美術館とはいえ、鋸南町出身の浮世絵師・菱川師宣や、俵屋宗達、尾形光琳ら名だたる作家の逸品ぞろいに驚かされる。まちおこしの活動を通じた美術鑑定家との出会いが、

収蔵品につながったとい

うから縁とは不思議なも

の▼アートを利用した地

域活性化は全国各地で盛

んだ。金谷では房州石を

使ったオブジェのまちな

か展示も展開。美術館の

今後の企画やテーマ設定

など、まちづくりとは独

立した専門的な方向性も

気になる▼同地区はNP

O法人地域活性化支援セ

ンターから「恋人の聖地」

にも選定され、4月には

モニュメントが完成す

る。「石と芸術」に加え

て「縁は異なるもの味なも

の」と、この土地の演出

効果が期待されるだろう

▼都市と田舎、人と人を

結ぶ地道なまちおこし

が、これからの可能性

を予感させてくれる。

日常を抜け出せる身近

な場として輝きを増す

ようである。

<2010・3・16>